

補助事業番号：26-1-013

補助事業名：平成26年度自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業

補助事業者名：公益財団法人日本自転車競技連盟

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

高校生競技者を育成強化し、大学生競技者することにより、の競技力の一層の向上と競技大会運営能力の更なる向上を目指し、自転車競技の普及促進を図り、もって、もって公益の増進に寄与する。

現在の高校生・大学生競技者の育成は我が国の競技力向上に必要不可欠であり、生徒・学生が活動する場を広く提供することは、自転車競技者以外の運動経験者へも門戸を広げることとなり、これによっても自転車競技自体の活性化に寄与するものである。

(2) 実施内容

① [公益財団法人全国高等学校体育連盟自転車競技専門部事業の実施](#)

ア. [平成26年度全国高等学校選抜自転車競技大会](#)（トラック種目）

（平成27年3月19日～21日、熊本・熊本競輪場）



※速報

[女子個人パーシュート](#)

[男子個人パーシュート](#)

[男子ポイントレース](#)

- [・女子スクラッチ](#) [・男子スクラッチ](#) [・男子1kmT.T](#) [・女子500mT.T](#)
- [・男子ケイリン](#) [・女子ケイリン](#) [・男子スプリント](#)

イ. [平成26年度全国高等学校選抜自転車競技大会](#) (ロード種目)

(平成27年3月22日、熊本・山鹿市)

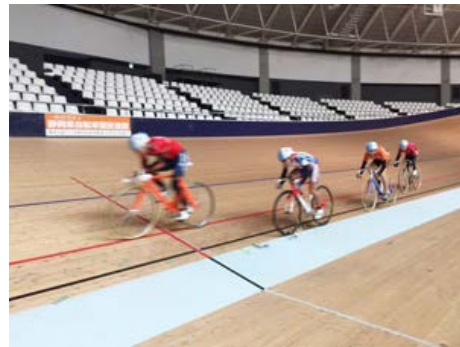


速報

- [・オープニングレース](#) [・女子ロードレース](#) [・男子ロードレース](#) [・総合成績](#)

ウ. 高校自転車競技選手全国合宿

(平成 26 年 12 月 20 日～24 日、静岡・日本サイクルスポーツセンター)・[合宿日程表](#) ・ [レポート](#)



動画 ・ [250mバンク練習](#) ・ [3日目：ウォーミングアップ走行](#) ・ [チームスプリント形式練習](#)
・ [スタンディングスタートによる1周走](#)

エ. チョンジュMBC自転車競技大会への派遣

2014年韓国フェリー（セウォル号）転覆事故（平成26年4月16日）の影響により、中止、順延開催の報を経て、最終的に中止とする旨、大韓民国より連絡があり、実施しなかった。

②日本学生自転車競技連盟事業の実施

ア. [東日本学生選手権トラック自転車競技大会](#)

（平成26年5月10日～11日、福島・泉崎）



・ [レポート](#)

イ. [全日本学生選手権チームロード・タイムトライアル大会](#)

（平成26年5月25日、埼玉／加須、羽生・利根川河川敷）

ウ. [全日本学生選手権個人ロードレース大会](#)

（平成26年6月7日～8日、長野／木祖・奥木曾湖）

エ. [全日本学生選手権自転車競技大会（トラック）](#)

（平成26年7月5日～6日、静岡／伊豆ペロドローム）

オ. [全日本大学対抗選手権自転車競技大会](#)

（平成26年8月28日～31日、静岡／日本サイクルスポーツセンター）

カ. [全日本学生自転車競技トラック新人戦・東日本大会](#)

（平成26年10月5日、山梨／笛吹・境川自転車競技場）

2. 予想される事業実施効果

将来の日本代表に育つであろう若手の育成を目的とするものであり、1名でも多くのエリート強化指定選手が生まれることを目指す。

わが国では自転車競技を開始する年齢として、高等学校における自転車部に入部する時期が多いことから、自転車競技者層の拡充を図る上で、高体連事業は重要な事業となっており、女子競技者の拡大を図る上でも、より一層の事業拡大が必要である。

また、高等学校からの自転車競技者の育成事業を途切れさせることなく、一貫した強化を行ううえで、高体連事業と学連事業は一体化したものであると考えられ、強化指定選手をより多く輩出するための土壌となっていく。

3. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 公益財団法人日本自転車競技連盟

(コウエキザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ)

住 所 : 141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

代表者名 : 会長 石崎聖子 (イシザキセイコ)

担当部署 : 総務部

担当者名 : 総務部長 菊田 聡

電話番号 : 03-6277-2690

FAX 番号 : 03-6277-2691

URL : <http://jcf.or.jp/>